

東北地方 1か月予報

(2月8日から3月7日までの天候見通し)

平成15年2月7日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

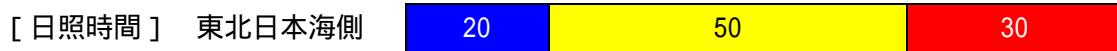
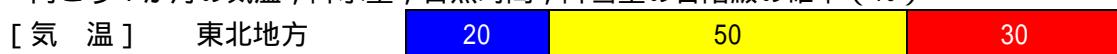
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

期間の前半を中心に冬型の気圧配置となる日が多いですが、強い寒気の南下は長続きしないでしょう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目と2週目は平年並、3～4週目は平年並か高い見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 2月 8日(土)～3月 7日(金)

1週目 : 2月 8日(土)～2月 14日(金)

2週目 : 2月 15日(土)～2月 21日(金)

3～4週目 : 2月 22日(土)～3月 7日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日14時30分 次回は2月14日

3か月予報：2月20日(木)14時00分

暖候期予報：3月10日(月)14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温, 降水量, 日照時間, 降雪量と1週目, 2週目, 3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	1.3	57.4	142.5	20	0.6	1.1	1.8
新庄	-0.4	128.6	66.7	-----	-1.1	-0.8	0.1
若松	0.2	63.4	103.6	94	-0.6	-0.2	0.8
深浦	0.3	74.0	59.1	53	-0.5	-0.1	0.8
青森	-0.6	99.5	84.1	170	-1.5	-1.0	0.1
むつ	-1.0	81.0	102.2	-----	-1.9	-1.4	-0.4
八戸	-0.3	48.8	136.6	51	-1.2	-0.7	0.3
秋田	0.7	89.9	76.1	68	-0.1	0.3	1.3
盛岡	-1.0	56.7	133.7	52	-1.9	-1.4	-0.3
宮古	0.7	75.6	153.1	38	0.0	0.4	1.2
酒田	1.9	104.8	71.3	48	1.3	1.6	2.4
山形	0.4	64.4	107.7	77	-0.4	-0.1	1.0
仙台	2.2	49.2	153.3	23	1.6	1.9	2.7
石巻	1.4	44.1	163.7	21	0.7	1.1	2.0
福島	2.4	51.1	148.5	28	1.6	2.0	2.9
白河	1.0	44.0	155.7	-----	0.3	0.7	1.6
小名浜	4.2	62.7	171.6	0	3.5	3.9	4.6

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.6	79~112	97~104	70~122
東北日本海側	-0.5~+0.5	92~108	92~106	78~126
東北太平洋側	-0.5~+0.6	63~121	98~104	61~122

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.9	-0.9~+1.0	-0.6~+0.6
東北日本海側	-0.8~+0.9	-0.9~+0.9	-0.7~+0.5
東北太平洋側	-0.8~+1.0	-0.9~+1.0	-0.6~+0.6

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年2月7日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(2月8日～3月7日)：

期間の前半を中心に冬型の気圧配置となる日が多いですが、強い寒気の南下は長続きしないでしあう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(2月8日～2月14日)：

期間の初め、気圧の谷が通過し天気の崩れるところがあるでしょう。中頃からは冬型の気圧配置となるため、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は概ね晴れるで見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(2月15日～2月21日)：

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4週目(2月22日～3月7日)：

天気は概ね周期的に変化し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多い見込みです。

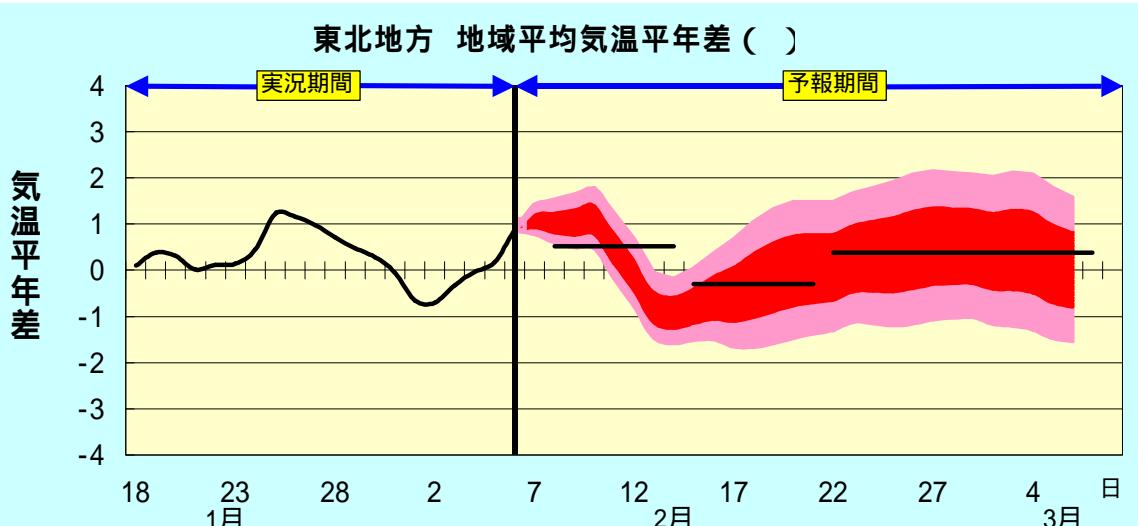
平均気温は平年並か高いでしょう。

平年の晴れ日数

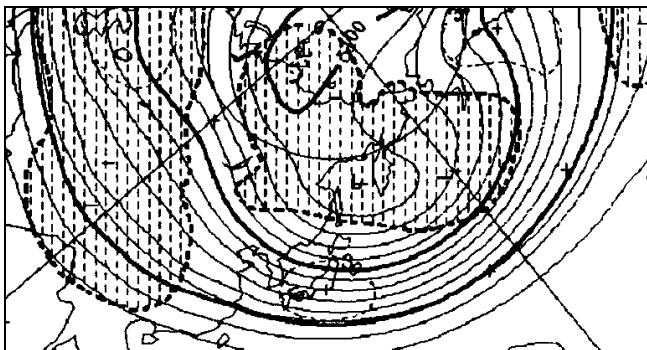
	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	7.6日	1.5日	1.7日	4.4日
東北太平洋側	17.9日	4.7日	4.3日	8.9日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に「平年並」を予測している。予報は、その他の資料から3～4週目を「平年並か高い」に変更するほかは、数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は大きい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

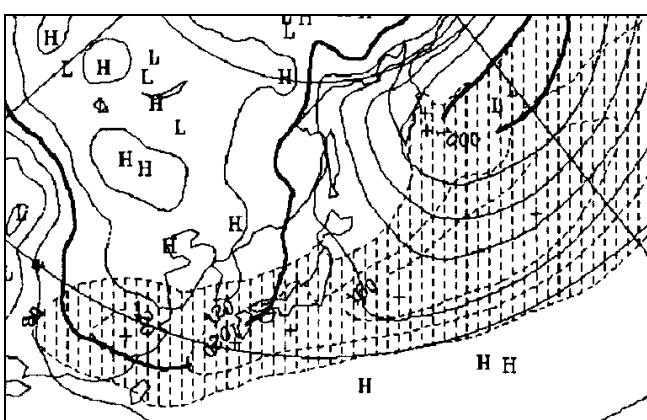


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線 : 60m 每、偏差 : 30m 毎、陰影部 : 負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、オホーツク海からアリューシャン列島付近が負偏差となる他は、日本付近は広く正偏差に覆われる。

週別（図略）では、1週目と2週目はオホーツク海付近の負偏差が月平均と比べ強く、北からの寒気の南下を示唆するが、東北地方は各週とも正偏差に覆われ、寒気の影響は弱い見込み。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線 : 4hPa 每、降水量 : 40mm 每、陰影部 : 80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、まとまった降水域は日本の南岸を東西に広がる予想。

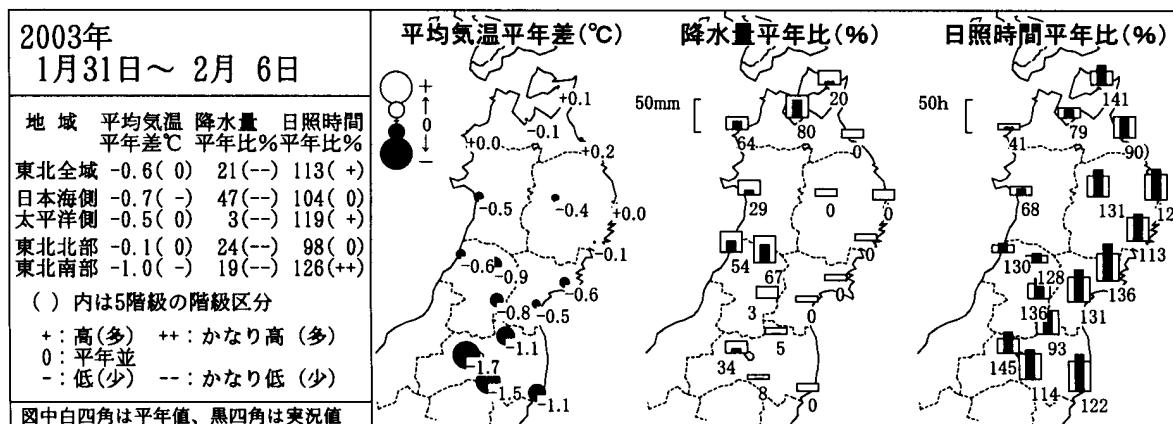
日本付近は西高東低の冬型の気圧配置だが、等圧線の間隔はまばらで強い冬型の気圧配置は長続きしない。

週別（図略）では、2週目に北日本から日本の東海上にかけて等圧線の間隔が狭まり、冬型の気圧配置が一時強まる予想。

4. 最近1週間（1月31日～2月6日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は北部を中心に曇りや雪、東北太平洋側は概ね晴れた。5日を中心に明け方の冷え込みが強まり、各地に低温注意報を発表した。

平均気温は東北北部で平年差-0.1と平年並、東北南部で平年差-1.0と低かった。降水量は、東北地方で平年比21%とかなり少なかった。日照時間は、東北北部で平年比98%と平年並、東北南部で平年比126%とかなり多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）